

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 29 年度 第 3 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 29 年 11 月 17 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：兼子、浅野、棚村、佐藤、清水、高崎、柴、乙訓、高木

欠席者：帖佐

議長：兼子 議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

- 1、日臨技より 10 月は会費・助成金の送金はありません。（高木理事）
- 2、日臨技より医療安全週間広報について広報依頼がありました。医療機関や会員の皆様への広報をお願いします。（高木理事）
- 3、日臨技より会員施設実体調査並びに会員意識調査実施への協力について、本調査は回答方式が Web を活用した回答方式に変更となり回答率の低下が見込まれるため会員への周知の方をよろしくお願いします。（高木理事）
- 4、公益社団法人岐阜県看護協会より検査と健康展の後援について承諾の依頼がありました。（高木理事）
- 5、岐阜県糖尿病対策推進協議会より「糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定」協定締結報告会を開催します。日時は平成 29 年 12 月 2 日（土）13：50～13：55、場所は岐阜県医師会館 6 階大会議室。ご出席ください。（高木理事）
- 6、岐阜県糖尿病対策推進協議会総会の開催いたします。多数の参加をいただきたくご案内申し上げます。日時は平成 29 年 12 月 2 日（土）14：00～16：00、場所は岐阜県医師会館 6 階大会議室。ご出席ください。（高木理事）
- 7、岐阜県医師会では県民公開講座「教えて COPD～ガンだけじゃない。タバコで起こるコワイ肺の病気」を開催するにあたり後援の要請がありました。主催団体は岐阜県医師会並びに岐阜県 COPD 対策協議会である。（高木理事）
後援名義使用について常務理事会で承認しました。
- 8、一般社団法人岐阜県病院協会より平成 29 年度全国「検査と健康展」に係る後援について了承しましたとの回答をいただきました。（高木理事）
- 9、日臨技より各賞受賞候補者の推薦依頼がありました。締切日を厳守の上推薦願います。日臨技学術奨励賞「優秀論文賞」、日臨技学術奨励賞「特別奨励賞」、永年職務精励者表彰岐臨技該当候補者 15 名送ります。（高木理事）
- 10、日臨技より「臨床検査技師」広報用頒布品の取り扱いについて通知がありました。対象頒布品はクリアファイル、リーフレット 11 種（臨床検査一覧、尿検査、心電図検査、超音波検査、生化学検査、病理検査、細胞診検査、輸血検査①②、微生物検査、検体採取）ご利用の場合申請ください。（高木理事）

11、日臨技より平成30年度会費について「年会費の確認と登録方法」「会費免除者登録・修正方法」について設定及び手順についての案内がありました。尚、平成30年度の会費徴収日は平成30年2月27日で準備をすすめています。(高木理事)

高木部長より岐阜地区からの報告があった。

第38回ぎふ市民健康まつりについて報告があった。

開催日時は平成29年11月5日(日) 午前10時から午後3時30分。

開催場所は岐阜市文化センター1階催し広場。

前日(平成29年11月4日(土)17:00)に会場準備。参加者は後藤・高木・林・早川・内藤斉会員。

当日はスタッフ36名、会場に午前9時集合した。検査コーナーは尿検査250名、血管年齢769名、頸動脈超音波183名実施しました。(高木理事)

平成29年度岐阜地区総会について報告があった。

開催日時は平成29年1月26日(金)19時30分より。

開催場所は長良医療センター外来棟2階 第一会議室。

案内状は11月20日定期便で発送する。委任状は12月20日までに技師会事務所に郵送していただく。

総会の議題は・平成29年度 岐阜地区理事活動報告について。・平成30・31年度岐阜地区理事選出・今後の予定・次年度の技師会活動についてである。(高木理事)

岐阜地区では第1グループから第5グループより5名の理事を選出しています。各グループで7~8施設に振り分けされているが、第1グループのみ大学病院で5施設(病院検査部と病院病理部と病院輸血部と大学院医学研究科病態情報解析分野と大学院医学研究科神経統制学スポーツ医科学)に分かれ第1グループに入っているため、これを大学病院として1つの施設に変更したい。今年度は既に5グループで次年度の理事選出に入っているため次年度以降のグループ分けの変更を地区総会で説明します。(高木理事)

高木理事より第56回岐阜県医学検査学会進捗状況について報告があった。

演題募集案内のメールアドレスに誤りがあった。(ドットをハイフオンに)今後、電話で対応し11月20日定期便で訂正文を会員宛に発送する。

誤 y_takagi1384@hashima-hp-net 正 y_takagi1384@hashima-hp.net

10月20日定期便で演題募集発送しました。申し込み期間11月1日~11月30日ですが11月17日現在で4演題集まりました。

特別講演は岐阜大学大学院医学研究科病態情報解析医学 教授 清島 満先生、内容は未定です。

ランチョンセミナー2 社は富士レビオ株式会社 営業学術グループ 福田 雅之助様、

「夜間・緊急検査時での免疫検査のピットフォール」とロシュ・ダイアグノスティック株式会社、「内容は未定」より依頼がありました。

市民公開講座は奥田 昌子先生でご講演題名は「日本人のための健康法とは」です。ポスターは完成しました。(高木理事)

岐阜県医学検査学会資料集作成に伴い印刷会社2社で見積を取った。

印刷数量は400部。表紙はカラー使用。一冊あたり50ページでの同条件で見積を依頼した。西濃印刷が税込253,800円、南進社が226,800円であった。本常務理事会において南新社に印刷を依頼することで承認した。

予算は支出を減らすため、垂れ幕は今回省きプロジェクターで映写することにした。

収入が、参加費(100名)(100,000円)、広告料(8社)(80,000円)ランチョン広告料(2社)(100,000円)収入合計額(280,000円)。

支出が、資料集(400部)(226,800円)、講師お茶菓子・お茶代・文具(3,000円)、教育講演講師料(50,000円)、市民公開講座講師料(30,000円)、外部講師交通費(5,000円)参加者弁当代(1,000円×100個)(100,000円)、日当・交通費・弁当代(50,000円)、OKBふれあい会館会場費前日準備(32,400円)、OKBふれあい会館会場費当日(41,000円)、会場附属設備(マイク5本・プロジェクター・講演机・司会机)(22,980円)、市民公開セミナー景品奥田先生執筆(日本人の「体質」)5冊(4,860円)、振込み手数料(540円)。

支出合計額(566,580円)収支合計額(△286,580円)である。(高木理事)

浅野副会長より大垣市健康ひろばについて報告があった。

10月15日に大垣城ホールで開催。スタッフは13名、開催時間は9時30分から15時00分まで。来場者総数は1700名あり検査コーナーには合計433名参加。(浅野副会長)

乙訓理事より中濃地区からの報告があった。

平成29年度 検査と健康展(関市)について打ち合わせ会議があった。

日時は平成29年11月10日(金)18:30~20:00、場所は岐阜医療科学大会議室。

会議内容は、平成29年度 検査と健康展(関市)開催に関する事項で日時は2017年12月3日、会場は、わかくさプラザ(総合福祉会館2階)介護予防センター。

高崎理事より、各部門企画の内容やレイアウト案、各部門の実務委員についての報告があった。(乙訓理事)

次期地区理事選出についての話し合いがあった。

今年度で地区理事が任期終了となり、新地区理事の選出が必要となる。現在運用している輪番表では、地区理事就任が困難なため辞退する施設も出てきているため、地区総会で輪番表の修正等を話し合う必要があると確認した。

他地区の理事選出方法などを参考して輪番表を作成する意見もあった。例として西濃地区では、主要な施設がメインで地区理事を担当し、小規模な施設は健康イベントなど

で実務委員として参加するようにしていることを浅野副会長より教えていただいた。

1月頃に地区総会を行い、輪番表の修正を含めて次年度の理事選出の検討をする予定となった。(乙訓理事)

高崎理事より平成31年 第58回中部圏支部医学検査学会 第2回実行委員会について報告があった。

日時は平成29年11月10日(金)18:30~20:00、場所は岐阜医療科学大学大会議室。

出席者は浅野敦副会長、高崎昭彦理事、佐藤恵彦理事、藤井泰三会員(木沢記念病院)、田下智栄子会員(岐阜医療科学大学)、小枝勝会員(中濃厚生病院)、林泉理事、青木洋子理事、乙訓貴之理事の9名。

愛知での学会視察について浅野副会長より報告があった。今回の視察を踏まえて、受付やランチョンチケット配布場所の動線など、岐阜で開催するときに、改善できるところは実施していく事と実行委員で確認をした。

学生企画は、より臨床検査技師の仕事内容を盛り込めると良いとの意見であった。

高崎実行委員から、次回の岐阜会場の岐阜国際会議場と今回の愛知国際会議場の施設の比較や、機器展示・懇親会場についての報告があった。

学会テーマは各実行委員よりテーマ案を持ちより検討した。テーマ案を以下に示す。

・「今が臨床検査の岐路」

1. ~現代の医療社会を捉えよう~
2. ~医療社会における臨床検査技師の役割を捉えよう~

「ねらい」。高度な医療技術の提供と少子化を背景に、超高齢化社会が始まっている。重要であるのは健康寿命で、予防医学と疾病構造の変化が注目されているのは周知の事実である。先般の医療法一部改正により、ゲノム医療の実用化に向けた遺伝子関連検査の精度確保が提唱された。これは予防医学の一翼を担うものと推考され、認知症医療とともに臨床検査の新たな路とも言える。現代・近未来の医療の中における臨床検査を的確に捉え、臨床検査技師が進む路を模索したい。

- ・「今、必要とされる臨床検査技師」~ ニーズ・信頼にこたえて ~
- ・「検査の波を乗りこなそう」~ Ride a wave ~
- ・「飛び出せ検査!!」
- ・「即戦力」~ 医療現場が求めている臨床検査技師を目指して ~
- ・「愛を育む臨床検査」~ 2025年問題を考える ~
- ・「医療のあり方・検査のあり方」~ 2025年問題を見据えて ~
- ・「飛躍」~ 明日を担う検査技師 ~
- ・「飛び出せ検査室!」~ 業務拡大の実践により、未来への道を拓け ~
- ・「変革」
- ・「飛躍」の副題として

～ 臨床検査のパラダイムシフト，さらなる展開に向けて ～

～ 臨床検査のパラダイムシフト，新たなステージへ ～

～ 新たなステージを目指した教育改革 ～

～ 技術改革，教育改革，すべてはさらなる展開に向けて ～

実行委員で検討した結果、メインテーマは「飛躍」を推薦することとなった。

副題(サブテーマ)は候補を4つ程あげ、理事会で検討し決めていく事となった。

今後の予定は 大会テーマの案は11月の常任理事会および12月の理事会で提案し、来年の1月までにサブテーマも含めて理事会で最終決定する。

2月に中部圏支部幹事会に提案する。

実行委員会の活動は日程表に従って今後の予定を進めていきたいと確認した。

実行委員会の活動は、来年5月ごろに役員及び実行委員の選定、その後、総会後に新たな委員を加えて実行委員会の発足を予定、必要に応じて会議を開く事と確認した。

実行委員会の会議について、開催時の出席については事務局が確認する。(高崎理事)

棚村副会長より東濃地区について報告があった。

現在次年度理事選出中である。総会の日程及び開催場所(おそらく土岐総合病院)についても進めている段階です。(棚村副会長)

帖佐理事は本日欠席ですが、岐臨技の投稿論文について

今年は岐大から出す余裕がないとのこと。是非皆さんに出していただきたいとの言伝を預かりました。よろしく願いいたします。(高木理事)

佐藤部長より精度管理事業部からの報告があった。

今年度、第2回目の精度管理事業部会議を開催した。

日時は平成29年10月27日(金)19:00~20:30。

場所は岐阜県臨床検査技師会事務所。

出席者は佐藤恵彦理事、山本初津恵会員、玉置佳澄会員、伊藤秀明会員、平光幹彦会員、渡邊景介会員、武藤延秋会員、中島直美会員、加藤雅子会員、山本将毅会員、片桐恭雄会員、長島敏之会員、酒井美穂会員、近藤真一会員、八木良仁会員、欠席は田中滋人会員でした。

議題1:最終評価の確認、問題点について。

臨床化学は渡邊景介会員より報告があった。二次サーベイは対象17施設中14施設が参加し、A・B評価となった。本年度は初めての試料(日臨技)であった。外れた項目は特定のものではなく、様々な項目であった。是正報告書の提出待ちである。

免疫は武藤延秋会員より報告があった。二次サーベイは対象5施設中5施設が参加し結果はOKであった。2施設の是正報告書待ちである。

生理は中島直美会員より報告があった。不正解と設定した選択肢に回答が集まったものがいくつかあった。このまま評価するのは問題であり、正解率を出してどのように評価するかを検討していく。

一般は加藤雅子会員より報告があった。二次サーベイは尿蛋白定量 対象1施設中0施設、尿糖定量 対象4施設中3施設が参加した。

血液は山本将毅会員より報告があった。Photo サーベイ D評価7施設中6施設が是正した。4施設からは是正報告書が出ている。CBCでは入力ミス、単位間違いが5施設あった。1施設には電話で直接指導した。200 mL バッグで採血して問題は発生しなかった。(昨年400 mLで採血しWBCのトラブルあり)

病理は片桐恭雄会員より報告があった。特に問題なし。

細胞診は酒井美穂会員より報告があった。1施設 是正報告書が出ているのに再入力されていない。⇒入力可の時間(10/31 15-16時)を決めて入力してもらう。

微生物は長島敏之会員より報告があった。病院8施設が二次サーベイを受けすべてOKの結果となった。再評価が未なので、10/28-11/5の間に行く。感受性の設問では一つの設問中三つの要素があるので、不正解とされてもどこが間違っているのかわからないとの問合せがあった。

輸血は八木良仁会員より報告があった。サーベイに特に問題なし。今後、精度管理用血液製剤の調達が課題。次年度試料は手配済みである。

議題2：総括集について議論した。

総括集原稿締切りは11月27日、原稿の雛型は統一したものを使用する。

総括集校正作業は12月8日と14日の2回を予定。

総括集納品は12月21日。最終評価表、総括集、参加証の発送は12月25日。またグラフについては、パワーポイントのものをそのまま張り付けると見えづらくなるのでしないようにする。

議題3：報告会について議論した。

実施日時は平成30年1月28日の15:00より。

会場は東海中央病院。第3回精度管理事業部会議として同日10:00より予定。内容は次年度計画について。

特別講演は「医療法の一部を改正する法律について」講師は宮島善文 会長。講師料は無料。交通費負担のみ。会長の送迎について、羽島駅から会場までの送迎方法は会長に都合を確認し今後決定していく。接待は、大会議室の前の小会議室を使用する。座長は、相談します。

報告会用パワーポイントについて近藤さんから連絡。報告会スライドの締切りは平成30年1月20日。報告会資料公開は平成29年1月22日。

議題4として、その他について議論した。今年度は参加申し込み忘れが多かった。18施設あった。当初64施設から最終79施設になった。次年度は岐臨技の広報に載せるの

かどうか。また案内文を色紙とするのはどうか。

基本料金未入力施設が 11 施設あった。見落としをなくすよう、基本料金の表示を申込書の一番上にした。(設定番号 00)。報告会の助成金を申請した。(佐藤部長)

清水部長より組織調査部からの報告があった。

無料 HIV 検査会事前研修会が平成 29 年 10 月 20 日(金曜日) 14 時 00 分～16 時 00 分に開催。会場はハートフルスクエア G 中研修室で開催。

例年、岐阜県の保健医療の一環として執り行われる「無料 HIV 検査会」の事前スタッフ研修会に参加しました。今年も岐臨技として是非、参加協力したいと思います。

例年にならって打合せの他、講演として「感染予防普及活動とセクシュアリティ」「新たな HIV 感染症・エイズ対策について」がありました。HIV の感染者数は岐阜県が全国で 4 位だそうです。県が主催する検査会は非常に有意義だと思われます。今後も引き続き開催されることを希望します。(清水部長)

岐阜県無料 HIV 検査会は、平成 29 年 11 月 12 日(日曜日) 12 時 30 分～18 時 00 分。

内容は MSM 対象の HIV 迅速検査。参加者は山本初津恵会員、高木康雄理事、水川真梨絵会員、南嶋隆文会員、宮下由佳里会員、清水康之理事 6 名である。

例年、岐阜県の保健医療の一環として執り行われる「無料 HIV 検査会」に岐臨技として参加しました。会員 6 名の協力がいただけました。今回で 7 回目の開催です。

受検者数は例年より少なく 17 件でしたが陽性を認めませんでした。減った原因として郵送健診の影響が考えられるそうですが、検査後の受診率は検査会の方が高いそうですので、今後も協力していきたいです。(清水部長)

HIV 予防啓発活動を岐阜経済大学で開催します。日時は平成 29 年 11 月 18 日(土曜日) 9 時 30 分～12 時 00 分。

業務内容は HIV 予防啓発活動グッズ(コンドーム、パンフレットなど)の配布である。

岐阜経済大学の学園祭で HIV への啓蒙活動に大垣保健所より参加要請があり、岐臨技として参加協力することになりました。

出席者は川島直樹理事、寺田浩史会員、井筒萌香会員、大角沙織会員、鈴木音緒会員、関敏秀会員、清水康之理事の 7 名である。

HIV 啓蒙活動配布グッズは、お茶、ビニール袋、グッズ送料代金を申請します。費用等はお茶代金(11,340 円)、ビニール袋代金(540 円)、グッズ送料(2,722 円)計 14,602 円。(清水部長)

検査と健康展における各部門企画、必要物品一覧については、生物化学分析部門が企画「唾液アミラーゼ測定」でスタッフ 2 名、パネル 1 枚、机 1 台、椅子 4、物品アミラーゼ測定キット。

臨床生理部門が企画「超音波で体の中を見てみよう」、スタッフ 15 名、パネル 2 枚、机 1 台、椅子 15 物品 ガムテープ、ごみ袋。

臨床一般部門が企画「おしっこの検査」スタッフ 3 名、パネル 3 枚、机 1 台、椅子 4、物品画鋸。

臨床血液部門が企画「貧血の検査、血球の説明（パネル展示）」スタッフ 3 名、パネル 2 枚、机 1 台、椅子 4、物品画鋸。

病理細胞部門が企画「体内臓器を細胞までみてみよう」スタッフ 2 名、パネル 2 枚、机 1 台椅子 4、物品モニター付き顕微鏡（1 台）。

臨床微生物部門が企画「手洗いチェック」、スタッフ 2 名、パネル 2 枚、机 1 台、椅子 4、物品画鋸、ティッシュ、ウェットティッシュ、使い捨てマスク（各 300）、蛍光ローション。

輸血細胞治療部門が企画「学ぼう、血液のゆくえ」、スタッフ 3 名、パネル 3 枚、机 1 台、椅子 4、物品画鋸。

臨床総合部門は問診、スタッフ 6 名、机 1 台、椅子 4、医師コーナーは「健康相談」医師 2 名（派遣医師）、机 2 台、椅子 4、その他として認知症検査を臨床総合部門が担当、机 1 台、椅子 4 準備する。（清水部長）

「検査と健康展」当日のスケジュール及びお願いについては、3 日お車でお越しの参加者はわかくさプラザの駐車場に止めて下さい。

9:00 集合、場所はわかくさプラザの総合福祉会館の 2 階にあります介護予防センター。搬入開始、各部門準備設営について簡単な打ち合わせを行う。

各部門の掲示物は部門ごとに用意していただきますようお願いします。

10:00 開場、昼食はお弁当を用意しますので別室にて交代でとってください。昼食、休憩は各部門で調整してください。協力業者さんのお弁当も手配しました。貴重品を置くところを準備していただく予定です。

15:30 終了後、撤収開始。16:30 に解散（予定）人数に限りがございますので、部門の垣根を越えて皆様でご協力いただけるようお願いいたします。手が空いているスタッフの方は、お客様の勧誘をしていただけると助かります。スタッフジャンパーが足りないので白衣の持参をお願い致します。（清水部長）

高崎部長より広報宣伝部からの報告があった。

平成 29 年度会報誌の発行については、第 53 号（7 月）会長挨拶、新理事紹介、新人サポート、春季拡大研修会、総会報告など、発行済みである。

第 54 号（10 月）中部圏支部学会、各地区イベント報告など、発行済みである。

第 55 号（12 月）秋季拡大研修会、検査と健康展報告などを予定。

第 56 号（1 月）年頭のあいさつ予定。

第 57 号（5 月）県学会報告を予定。

次号（第 55 号）のタイムスケジュールについて、投稿願（発行月の前月 1 日より依頼）11 月 20 日（月）依頼、原稿締め切り（発行月の前月末日）12 月 11 日（月）予定、

内容確認、校正（発行月の理事会日）12月15日（金）、発送（発行月20日）12月20日（水）を予定している。

平成29年度第55号（12月）については①秋季拡大研修会報告（飛騨地区、荒井理事）②検査と健康展報告 ③第58回中部圏支部学会準備進捗状況など ④各地区からの報告、大垣市民健康まつり、ぎふ市民まつり、全国検査と健康展、④各部門からの投稿記事は輸血、生物化学の予定、施設紹介は西濃地区と岐阜地区（東海学院）の予定。（高崎理事）
HP バナー広告について、現在5社で更新をお願いしています。（高崎理事）

柴理事より人材育成部会からの報告があった。

平成29年度 都道府県技師会リーダー育成研修会企画書について報告があった。

開催日時は平成30年3月4日（日）9時10分から17時30分まで、開催場所はOKBふれあい会館 小会議室、都道府県技師会リーダー育成研修会の目的は医療情報や、臨床検査技師の未来や技師会活動のあり方について学び、組織目標達成に向けた考え方や、プロジェクト成功に向けた現状分析、課題解決力、企画立案など、マネジメントスキルを習得する。

日程は9:10 受付開始、9:25 開会挨拶、9:30 講演①「医療情報、臨床検査技師を取り巻く状況の共有」講師は日臨技より役員派遣申請中である。

10:40 講演②「日本臨床検査技師会、都道府県臨床検査技師会の事業活動について」講師は兼子会長。

11:30 講演③-1「組織目標達成に向けた事業展開の考え方について（仮）」講師：オーソダイアグノスティックス 増本隆 氏、12:20 より休憩、12:30 からランチオンセミナー、講演③-2「組織管理、人材育成など組織内における役割の理解（仮）13:20 より休憩、13:30 よりグループディスカッション。（グループは5組。5から6人）15:30 よりプレゼンテーション大会。17:30 閉会挨拶。

道府県技師会リーダー育成研修会予算書については、収入が受講料 60,000（2,000 円/人×30 名）日臨技助成金 35,000（500 円×30 名+2 万円）都道府県負担金（15,220 円）収入合計（110,220 円）。支出は会場費（10,260 円）、旅費交通費（20,000 円）、諸経費（日当含）（38,960 円）食卓費、（40,000 円）、雑費（1,000 円）支出合計（110,220 円）（柴理事）

平成30年度 初級・職能開発講習会企画書について報告があった。

開催日時は平成30年4月22日（日）8時30分から 16時00分まで。開催場所は岐阜大学医学部会議室。

日程は8:30 受付開始、9:00 オリエンテーション。

9:10 会長講話「医療情報と今後の方向性について」日臨技会長 宮島喜文 氏（申請中）。

10:20 基調講演「多職種連携医療で活躍する臨床検査技師」日臨技 からの講師派遣（申請中）、11:50 昼食。

13:00 グループワーク「多様なニーズに対する臨床検査技師のあり方」司会：県担当講師、講師（日臨技からの講師）。

15:10、eラーニング「自己学修支援システム」の概要説明、15:50 閉講式、16:00 終了。

平成30年度初級・職能開発講習会予算書については収入が日臨技負担金（11,300円）都道府県負担金（13,520円）収入合計（24,820円）。支出が旅費交通費（11,300円）、諸経費（日当含）（6,520円）、会議費（5,000円）、雑費（2,000円）支出合計（24,820円）である。（柴理事）

柴理事より懇親会の報告があった。

11月11日に高山で懇親会がありました。8名の参加者がありました。次回は岐阜で開催します。開催日は2月24日を予定しております。是非ご参加ください。（柴理事）

乙訓理事より会計報告があった。

平成29年度より岐臨技月別決算表に年度予算と差額を掲載することになりました。

9月の経常収益計521,942円、9月までの経常収益計12,236,320円、予算12,980,100円、差額-743,780円。9月の経常費用計1,120,110円、9月までの経常費用計5,661,754円、差額-7,318,346円であった。（乙訓部長）

その他

林一般部門長より中部圏支部研修会の一般部門で使用するマップを購入したいという要望がありました。費用は30枚で18,000円です。よろしいでしょうか。（兼子会長）

本常務理事会において、岐臨技で購入することで承認いたしました。

平成30年に開催する春季拡大研修会と定時総会の日程ですが、平成30年6月10日（日）でお願いします。開催地区は西濃地区です。ご協力をお願いします。（兼子会長）

次年度の役員ですが、現在役員をされている各部長さん方には次年度についても引き続きお願いしたいと思います。ご協力の程よろしく願いいたします。（兼子会長）

議長 兼子 徹 

議事録署名人 浅野 敦 

議事録署名人 _____ 印